

# 2019年3月期 決算補足資料

2019年5月9日

京阪ホールディングス株式会社

( 東証1部 9045 [https:// www.keihan-holdings.co.jp/](https://www.keihan-holdings.co.jp/) )

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2019年3月期  
決算の概要

# 連結損益計算書

- 自然災害による影響はあったものの、不動産業における利益率の高いマンション販売などが寄与し増収となり、7期連続過去最高を更新。営業利益、経常利益においても増益となり、過去最高益。親会社株主に帰属する当期純利益については、前期に計上した京阪ライフサポート株式売却益の反動減などにより減益となり、過去第4位。

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減	増減要因	2019/3 通期予想	増減
営業収益	326,159	322,276	3,882 (1.2%)	※自然災害による影響△22億円	322,500	3,659 (1.1%)
営業利益	33,715	31,458	2,257 (7.2%)	※自然災害による影響△13億円	31,000	2,715 (8.8%)
営業外収益	2,016	1,971	45			
営業外費用	3,623	3,800	△176			
経常利益	32,108	29,630	2,478 (8.4%)		29,600	2,508 (8.5%)
特別利益	4,312	6,626	△2,313	関係会社株式売却益△3,179 ※自然災害による影響+2億円		
特別損失	4,372	2,572	1,799	※自然災害による影響+9億円		
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,480	22,712	△1,231 (△5.4%)	※自然災害による影響△14億円	21,000	480 (2.3%)
減価償却費	19,819	19,113	706		20,000	△180
E B I T D A	53,535	50,571	2,963	※EBITDA：営業利益+減価償却費	51,000	2,535
受取利息及び配当金	937	854	82		925	11
支払利息	2,401	2,561	△160		2,402	△1
金融収支	△1,463	△1,707	243		△1,476	12

## 自然災害による影響

営業収益内訳 運輸業:△5億円、流通業:△7億円、レジャー・サービス業:△9億円

営業利益内訳 運輸業:△5億円、流通業:△1億円、レジャー・サービス業:△7億円

(単位:百万円)

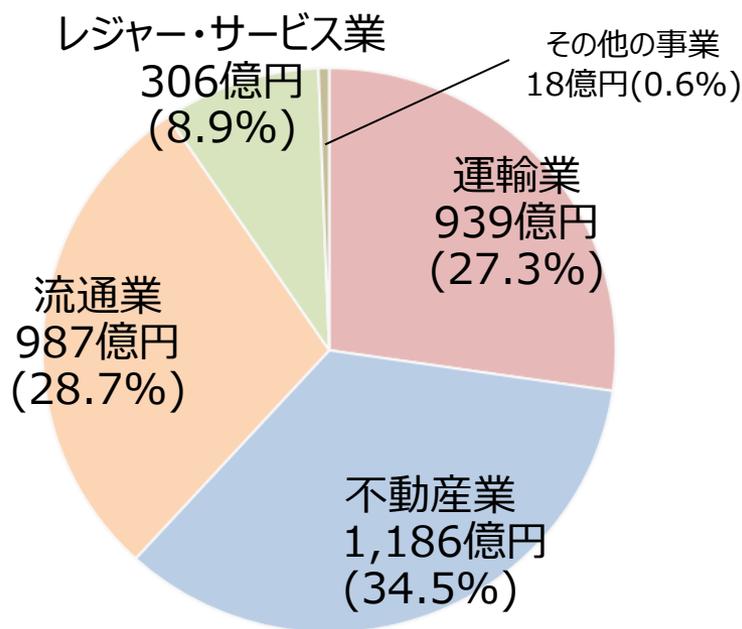
		2019/3	2018/3	増減額	増減率	2019/3 通期予想	増減額	増減率
運輸業	営業収益	93,926	92,262	1,664	1.8%	92,700	1,226	1.3%
	営業利益	11,221	9,180	2,040	22.2%	9,800	1,421	14.5%
不動産業	営業収益	118,607	113,132	5,474	4.8%	115,000	3,607	3.1%
	営業利益	17,468	15,316	2,151	14.0%	15,900	1,568	9.9%
流通業	営業収益	98,727	100,709	△1,981	△2.0%	99,600	△872	△0.9%
	営業利益	2,923	2,845	78	2.8%	2,900	23	0.8%
レジャー・サービス業	営業収益	30,621	31,298	△677	△2.2%	31,400	△778	△2.5%
	営業利益	1,817	4,877	△3,060	△62.7%	2,000	△182	△9.1%
その他の事業	営業収益	1,843	1,824	18	1.0%	1,900	△56	△3.0%
	営業利益	△57	34	△92	-	0	△57	-
全社・消去	営業収益	△17,567	△16,951	△615	-	△18,100	532	-
	営業利益	342	△795	1,138	-	400	△57	-

# セグメント情報（構成比）

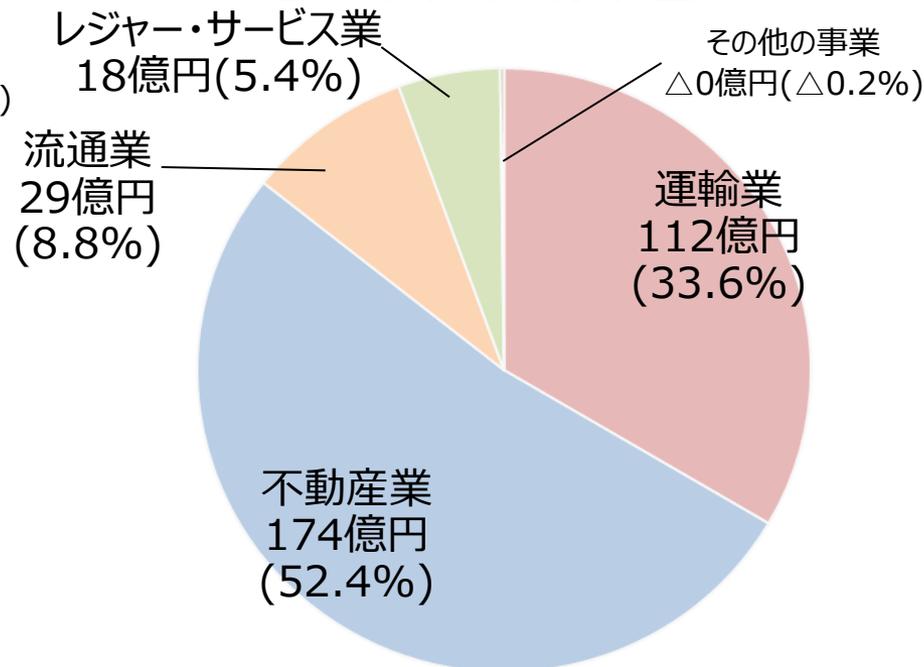
【連結対象会社】41社（対前期 1社増） 【持分法適用会社】2社（対前期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他8社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、バイオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
そ の 他 の 事 業	京阪カード

## <セグメント別営業収益>



## <セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額、構成比であります。

# セグメント情報（運輸業）

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額	増減率
営業収益	93,926	92,262	1,664	1.8%
鉄道事業	76,634	75,974	660	0.9%
バス事業	27,620	26,802	817	3.1%
消去	△10,327	△10,514	186	—
営業利益	11,221	9,180	2,040	22.2%
鉄道事業	9,788	8,241	1,547	18.8%
バス事業	1,393	890	502	56.4%
消去	39	48	△8	—

## （主な増減要因）

- 鉄道事業は、自然災害による運休等の影響があったものの、京阪電気鉄道において定期旅客数増加や「プレミアムカー」及び「ライナー」列車の通期寄与に加え、動力費など経費の減少もあり、増収増益。
- バス事業は、一般路線や関西国際空港線（リムジンバス）の堅調な推移などにより、増収増益。

		2019/3	2018/3	増減	増減率
旅 客 収 入		百万円	百万円	百万円	%
		52,054	51,820	234	0.5
	定 期 外	35,187	35,278	△90	△0.3
	定 期	16,866	16,541	325	2.0
旅 客 数		千人	千人	千人	%
		295,099	294,409	690	0.2
	定 期 外	149,795	151,946	△2,150	△1.4
	定 期	145,304	142,463	2,841	2.0

(定期外旅客収入の主な増減要因)

- 自然災害による影響△304百万円、「プレミアムカー」及び「ライナー」列車の通期寄与+236百万円

(定期旅客収入の主な増減要因)

- 雇用情勢の改善

# セグメント情報（不動産業）

(単位：百万円)

		2019/3	2018/3	増減額	増減率
営業	収益	118,607	113,132	5,474	4.8%
	不動産事業	100,250	93,711	6,539	7.0%
	不動産販売業	74,907	69,150	5,757	8.3%
	不動産賃貸業	21,826	21,042	783	3.7%
	その他	3,516	3,518	△2	△0.1%
	建設事業	24,578	23,966	611	2.6%
	消去	△6,222	△4,545	△1,676	—
営業	利益	17,468	15,316	2,151	14.0%
	不動産事業	16,841	14,930	1,910	12.8%
	不動産販売業	6,563	5,171	1,391	26.9%
	不動産賃貸業	9,900	9,304	596	6.4%
	その他	377	454	△77	△17.0%
	建設事業	817	604	213	35.3%
	消去	△190	△218	27	—

## (主な増減要因)

- 不動産販売業は、事業用地の売却に加え、利益率の高いマンション販売が堅調に推移したことなどにより、増収増益。
- 不動産賃貸業は、前期に取得した賃貸ビルの通期寄与などにより、増収増益。
- 建設事業は、大型案件の受注などにより、増収増益。

# セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

	2019/3	2018/3	増減額	増減率
営業収益	98,727	100,709	△1,981	△2.0%
百貨店業	50,886	49,151	1,735	3.5%
ストア業	30,143	32,440	△2,296	△7.1%
ショッピングモールの経営	14,788	14,909	△121	△0.8%
その他	7,866	8,689	△823	△9.5%
消去	△4,958	△4,482	△475	—
営業利益	2,923	2,845	78	2.8%
百貨店業	292	157	134	85.4%
ストア業	730	1,038	△307	△29.6%
ショッピングモールの経営	1,839	1,758	81	4.6%
その他	88	△121	210	—
消去	△28	11	△40	—

（主な増減要因）

- 百貨店業は、インバウンド需要取り込みによる化粧品販売の好調などにより、増収増益。
- ストア業は、一部テナント契約の定借化や「フレスト松井山手店」改装に伴う休業の影響などにより、減収減益。

# セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額	増減率
営業収益	30,621	31,298	△677	△2.2%
ホテル事業	26,800	27,379	△578	△2.1%
レジャー事業	3,848	4,097	△248	△6.1%
消去	△27	△177	149	—
営業利益	1,817	4,877	△3,060	△62.7%
ホテル事業	1,688	4,646	△2,958	△63.7%
レジャー事業	107	207	△99	△48.0%
消去	21	23	△1	—

## 《ホテル稼働率 内訳》

	2019/3	2018/3	増減
ホテル京阪	94.1%	96.9%	△2.8pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	※ 87.6%	92.1%	△4.5pt

※2019年1月より開業した「THE THOUSAND KYOTO」を除いた稼働率は、90.1%になります。

### (主な増減要因)

- ホテル事業は、自然災害や「京都センチュリーホテル」改装に伴う営業休止による減収の影響に加え、新店開業費用の増加などもあり、減収減益。
- レジャー事業は、ゴルフ場改装に伴う休業や自然災害による影響などで、減収減益。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2019/3	2018/3	増減	増減要因
資 産	流 動 資 産	180,080	168,266	11,814	販売土地及び建物+7,640
	固 定 資 産	551,669	530,519	21,150	建物及び構築物+13,987 投資有価証券+1,685
	資 産 合 計	731,750	698,786	32,964	
負 債	流 動 負 債	178,310	161,600	16,710	短期借入金+15,874
	固 定 負 債	314,744	313,626	1,117	社債+9,934、長期借入金△7,861
	負 債 合 計	493,055	475,226	17,828	
純 資 産		238,695	223,559	15,136	利益剰余金+17,175 ※自己資本比率32.1% (+0.6pt)
負 債 純 資 産 合 計		731,750	698,786	32,964	

(注) 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を当期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産（固定資産）、繰延税金負債は固定負債に表示しており、2018年3月期についても遡及適用後の数値としております。

R O A	4.7%	4.6%	0.1pt	※ROA：総資産営業利益率
R O E	9.4%	10.8%	△1.4pt	※ROE：自己資本当期純利益率
E B I T D A	53,535	50,571	2,963	※EBITDA：営業利益+減価償却費
有 利 子 負 債	334,346	316,399	17,946	社債+9,934、借入金+8,012
有利子負債EBITDA倍率(倍)	6.25	6.26	△0.01	
ネット有利子負債 E B I T D A 倍 率 ( 倍 )	5.85	5.85	—	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,473	44,438	△7,965	たな卸資産の増加△15,202、 売上債権の減少+6,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,059	△32,603	△15,455	固定資産の売却による収入△8,134、 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入△2,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,655	△9,858	22,514	社債発行による収入+19,862
現金及び現金同等物の増減額	1,069	1,976	△906	
現金及び現金同等物の期首残高	20,300	18,324	1,976	
現金及び現金同等物の期末残高	21,377	20,300	1,076	

# セグメント別設備投資

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額	2019/3 通期予想	増減額
設 備 投 資	43,631	39,745	3,886	63,200	△19,568
運 輸 業	14,609	14,952	△343	19,300	△4,690
不 動 産 業	26,080	21,345	4,735	20,300	5,780
流 通 業	1,428	1,188	240	2,500	△1,071
レジャー・サービス業	3,364	1,959	1,405	6,900	△3,535
そ の 他 の 事 業	9	7	1	0	9
全 社 ・ 消 去	△1,860	293	△2,154	14,200	△16,060

# セグメント別EBITDA

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額	2019/3 通期予想	増減額
E B I T D A	53,535	50,571	2,963	51,000	2,535
運 輸 業	23,119	20,469	2,649	21,800	1,319
不 動 産 業	22,666	20,334	2,332	21,200	1,466
流 通 業	4,230	4,171	58	4,200	30
レシ`ャ-`サ-ヒ`ス業	2,933	6,040	△3,106	3,100	△166
そ の 他 の 事 業	△20	71	△91	0	△20
全 社 ・ 消 去	605	△515	1,121	700	△94

2020年3月期  
業績予想

# 連結損益計算書（業績予想）

- 前期に開業したホテル新店の通期寄与などによる増収を見込むものの、前期の利益率の高いマンション販売の反動減などにより営業利益、経常利益は減益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に計上した特別損失の反動減などにより増益の見込み。

(単位：百万円)

	2020/3 通期予想	2019/3	増減	増減率
営業収益	326,700	326,159	540	0.2%
営業利益	32,000	33,715	△1,715	△5.1%
経常利益	30,500	32,108	△1,608	△5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	22,000	21,480	519	2.4%
設備投資額	55,200	43,631	11,568	26.5%
減価償却費	21,200	19,819	1,380	7.0%
EBITDA	53,200	53,535	△335	△0.6%
有利子負債	375,000	334,346	40,653	12.2%
有利子負債EBITDA倍率(倍)	7.05	6.25	0.80	—
ネット有利子負債 EBITDA倍率(倍)	6.67	5.85	0.82	—
受取利息及び配当金	846	937	△91	△9.7%
支払利息	2,266	2,401	△134	△5.6%
金融収支	△1,420	△1,463	43	—

# セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因：対2019年3月期）

- 運輸業：鉄道事業における京都方面観光客数の増加、修繕費や人件費の増加
- 不動産業：前期の利益率の高いマンション販売の反動減
- 流通業：前期に改装した「フレスト松井山手店」の通期寄与
- レジャー・サービス業：前期に開業した「THE THOUSAND KYOTO」他ホテル新店の通期寄与、開業費用の反動減

（単位：百万円）

		2020/3 通期予想	2019/3	増減額
運輸業	営業収益	94,600	93,926	673
	営業利益	10,400	11,221	△821
不動産業	営業収益	108,100	118,607	△10,507
	営業利益	14,900	17,468	△2,568
流通業	営業収益	101,500	98,727	2,772
	営業利益	3,600	2,923	676
レジャー・サービス業	営業収益	38,100	30,621	7,478
	営業利益	4,300	1,817	2,482
その他の事業	営業収益	3,500	1,843	1,656
	営業利益	△400	△57	△342
全社・消去	営業収益	△19,100	△17,567	△1,532
	営業利益	△800	342	△1,142

# 運輸成績（業績予想） 京阪電気鉄道

		2020/3 通期予想	2019/3	増減	増減率
旅 客 収 入		百万円	百万円	百万円	%
		52,650	52,054	595	1.1
	定 期 外	35,705	35,187	517	1.5
	定 期	16,945	16,866	78	0.5
旅 客 数		千人	千人	千人	%
		297,490	295,099	2,390	0.8
	定 期 外	151,509	149,795	1,713	1.1
	定 期	145,981	145,304	676	0.5

# セグメント別設備投資（業績予想）

（単位：百万円）

		2020/3 通期予想	2019/3	増減額
設 備 投 資	設 備 投 資	55,200	43,631	11,568
	運 輸 業	18,300	14,609	3,690
	不 動 産 業	18,800	26,080	△7,280
	流 通 業	2,300	1,428	871
	レジャー・サービス業	2,300	3,364	△1,064
	その他の事業	1,500	9	1,490
	全 社 ・ 消 去	12,000	△1,860	13,860

# セグメント別EBITDA（業績予想）

（単位：百万円）

		2020/3 通期予想	2019/3	増減額
E	B I T D A	53,200	53,535	△335
	運 輸 業	22,300	23,119	△819
	不 動 産 業	21,100	22,666	△1,566
	流 通 業	4,900	4,230	669
	レジャー・サービス業	5,700	2,933	2,766
	その他の事業	△300	△20	△279
	全 社 ・ 消 去	△500	605	△1,105



**京阪ホールディングス株式会社**

**経営統括室経理部**

**TEL 06-6944-2527**

**FAX 06-6944-2562**